

2021年（令和3年）4月20日

グランビジョン国際学院
校長 加野奈保子

自己評価の実施について（報告）

このたび、本校では、法令および学則に基づく自己点検及び自己評価を実施しましたので、その結果を公開いたします。

この自己点検・自己評価は、本校が、在留資格「留学」に係る日本語教育機関として告示に基づく指定を受けるにあたってあらかじめ定めた基準に従い、個別に項目を設定したうえで実施したものです。

以下、その結果等につき「総括」を記載します。

評価項目については、

「学習指導」

「進路指導」

「学生管理」

「生活指導」

「学校行事・課外活動」

「学生募集・入学選抜等」

「その他（関連項目）」

この7つの大項目と、それぞれ3～21の小項目を設定し、合計56の小項目につき、「そう思う・どちらともいえない・そう思わない」の3段階で自己評価を行いました。また、これら自己評価に先立って、学生アンケートを実施しており、その結果を参照することによって、自己評価等の客観性を高めることに努めました。さらに、それぞれの自己評価について可能な限り、その評価についての理由や付加すべき意見・反省点などを併せて記し、今後の運営改善に活かせるよう配慮しました。

なお、ここではそれら自己評価等の過程と結果を踏まえた「総括」を記しています。個別の自己評価項目ごとの結果については、別添「自己評価項目結果一覧」および「学生アンケート結果」をご参照ください。

【I】総括

2020年度の1年間は、まさに新型コロナウイルス感染症（以下＝コロナ）に翻弄され、その影響を受け続けた1年間でした。そして、未だその影響は去っておらず、収束時期の予想も難しい状況が続いています。

コロナによる緊急事態宣言の発令等に伴い、教育面においては、休講措置をとったり、オンライン授業を実施するなど、長期間にわたり通常の対面授業とは違う形での授業展開を強いられました。また、コロナ対策として、教室を始めとする各施設の消毒や、検温の実施、マスクの着用、定期的な換気対策などを徹底して実施してまいりました。

さらに、授業以外の学校行事についても多くの行事を中止や縮小開催せざるを得ず、十分な教育効果を発揮することができなかつた点は残念でありませんが、そんな中でも学生たちに少しでも楽しんでもらうべく、緊急事態宣言の出していない時に十分な対策を

施しつつ行事を少しでもできたことは、良かったと思っております。

種々の対策や指導、また、学生一人ひとりの意識づけができていたことにより、お陰様で、学生、職員を含めて、これまで1人もコロナに感染することなく学校運営ができてきていることを、有り難く感じております。

しかしながら、コロナの影響により、春休みに本国（ベトナム）に一時帰国した学生が日本に戻れなくなった事例が3件あり、そのうち2名は秋に日本に戻り卒業をしたものの、1名については、コロナの影響による経済的事情もあり、日本に戻ることなく退学を余儀なくされました。さらに、日本にずっといた学生の中にも、コロナの影響で本国の親からの学費の支弁が難しくなり退学を余儀なくされた学生もおりました。

上記以外の学生につきましては、2年生36名が無事全過程を修了し卒業することができました。また、進学希望学生は全員が大学または専門学校に進学することができたほか、1名は本邦の企業に就職し、多くの学生が初期の目標を達成することができました。

日本語教育機関の教育の目標の一つにもなっている JLPT 日本語能力試験については、年に2回しかない試験の1回（7月）がコロナのために中止となり、挑戦するチャンスが減ってしまいましたが、N2 合格率100%、N3 合格率75%という好成績を収めることができ、レベル別のクラス分けを徹底した効果が出たものと分析しております。

まとめとしましては、教職員、事務職員、そして学生たちもコロナ禍という未曾有の事態にもよく対応をし、その中でできるだけの努力をし、成果をあげてくれたものと評価しております。

【Ⅱ】評価項目ごとの総括

1. 学習指導（21項目）

学習指導に関しては、21の評価項目を設定し、このうち19項目について、概ね目標が達成できた（「そう思う」）という自己評価を行いました。

本校においては、学習指導、進路指導にあたり、

- 日本語のレベル別クラスを設置し、個別指導にも留意すること
 - 日本語能力試験対策を重視すること
 - 進路（専門学校、大学・短大、就職等）についての個別指導を徹底すること
- を、特に重要な方針として掲げてきました。

このうち、学習指導に関しては、学生の「習熟度に応じたクラス分け」と「個別指導の徹底」を特に重視しております。

本校では、選抜時（入学時）までの日本語学習歴や本人の申告などにこだわることなく、入学後に実施するプレイスメントテストの結果を主な判断基準として、入学時点での習熟度（能力）に応じてクラス分けを行っています。

その後は、概ね3カ月ごとに定期テストなどを行い、個々の学習状況を丁寧に把握することに努めています。また、そのようにして把握した習熟度や学習目標を踏まえ、クラスごとにしっかりとしたカリキュラムを構築し、実施しています。

今回、どちらも言えないという評価となった2項目については、どちらもコロナの影響を強く受けたものです。慣れないオンライン授業において、その内容を改善していくことは今後の課題であると考えています。同時に、オンライン授業の技術的向上を目指して勉強会の開催や研修会への参加なども必要であると考えています。

2. 進路指導 (3項目)

前述のとおり、本校においては、学習指導、進路指導にあたり、

- 日本語のレベル別クラスを設置し、個別指導にも留意すること
- 日本語能力試験対策を重視すること
- 進路（専門学校、大学・短大、就職等）についての個別指導を徹底すること
を、特に重要な方針として掲げてきました。

このうち、進路については、クラス担任を中心とする個別具体的な指導を徹底して行ってきました。

3. 学生管理 (10項目) と生活指導 (6項目)

この項については、併せて16項目のうち、概ね目標を達成できた（「そう思う」）と自己評価したのは合計13項目、かならずしも十分に目標を達成できているとまでは言いがたい（「どちらともいえない」）と自己評価したのは合計1項目、「そう思わない」と回答したものが2項目ありました。

「どちらともいえない」となった項目は、学生との面談や接し方についてで、その理由は、どうしても問題を抱えている学生への対応時間が長くなり、問題のないまたは少ない学生と接する時間が少なくなってしまったというものです。これは致し方ない面があるとは思いつつ、問題のない学生にも表面化していない悩みがあったり我慢をしていることなどもあることが推測されることから、そのような学生にも広く目配りをしていくことが必要であると考えております。

「そう思わない」と回答した2項目については、コロナの影響が大であり、学生の学費や寮費の支払いについては、コロナで予定していたアルバイトができなかったことが大きく影響しており、また、避難訓練の実施についても、コロナによりオンライン授業が多くなったことに起因しているもので、コロナが収束すれば通常通りの動きに戻るものです。

4. 学校行事・課外活動 (5項目)

学校行事・課外活動については、まさにコロナの影響を大きく受けた部分であり、予定していたバーベキュー大会、七夕・浴衣着付け、スピーチコンテスト、かるた大

会、書き初め、お餅つき、都内の施設見学、遠足など、ほとんどの行事・活動において、三密の回避や外出自粛の観点から、中止せざるを得なかったものであります。

しかしながら、緊急事態宣言が出されていない時期を見計らい、マスクの着用や手洗い、密の回避を実践しつつ、遠足やレクリエーションを実施することができたのは、タイミングをみながら臨機応変に予定を組めたことが良かったと思っております。

5. 学生募集・入学選抜等（5項目）

当該年度の学生募集・入学選抜については、コロナの影響により外国への渡航ができなくなったことから、例年のように対象国へ直接行って学生募集活動を行うことができませんでした。そこで、ZOOM等のツールを使いオンラインでの学生募集活動や学生の面接等を実施しました。しかしながら、やはり直に会って学生と面談ができないことは、大きなビハインドになったと思っております。

また、これまで学生募集をベトナム中心で行なってきましたが、ベトナムにおける留学熱の低下を強く実感した年でもありました。それは、コロナの影響ということではなく、日本が留学生30万人計画を達成し、留学から特定技能に舵を切ったことが大きく影響しているものと思っております。当校では、数年前から学生募集においてベトナム以外の国にも対象国を増やす努力をして参りました。例えば、中国、台湾、フィリピン、ネパール、バングラデシュ、ミャンマー、インドネシア等々。しかし、それらの国々の学習者、仲介機関、日本語学習機関の方々と十分な関係を構築する途中段階において、コロナによる渡航禁止の状況になってしまったことは、実際上大きな障害となりました。

6. その他（6項目）

「奨学金」については、今後、ますます入学希望者からのニーズが高まっているもので、その財源をどう確保していくかが、課題となってくると考えています。

本邦において安定的な学習環境の整備を行えるよう、関係諸機関との連携を深めていく方針です。

7. 学生アンケート結果

令和3年（2021年）3月、在校生を対象としてアンケートを実施し、35名から回答を得ました。その個別の結果については、別添の資料をご参照ください。

アンケート項目は、大きく2つに分けられます。

ひとつは学生自身の授業への取組みなどに関わる自己評価です。

3項目とも肯定的な回答（そう思う）が最も多い数字でしたが、「予習・復習・宿題をしたか」という問いに対して、約三分の一の学生が「どちらとも言えない」「そう思わ

ない」と答えています。オンライン授業を実施している期間が長かったため、宿題の出し方が変わったり、授業の進め方にも変化が生じていたため、教師も学生も慣れるまでに時間がかかり、学習のリズムをつかみづらかった点は大いにあったと思われます。

コロナの影響は、今後も当分続くことが予想され、場合によってはオンライン授業になる期間もあると思いますので、今後は、オンライン授業の質をいかに上げていくかも大きな課題と言えます。さらに、教師間にオンライン授業の得手不得手などの差が出ないように校内での研修を行ったり、オンライン授業用の教材や IT スキル等も向上を図っていかなくてはならないと考えております。

次に、学校の対応についての評価ですが、ここでも、「そう思う」という肯定的な回答が 6 つの質問すべてで最多となりましたが、「自分の進路について十分に相談にのってもらえたか」という問いに対して、「そう思う」が 29 名、「どちらとも言えない」が 6 名でした。この点に関し、教員、事務職員共に、どの学生にも平等に指導や相談を行なっているつもりですが、どうしても偏りが出てしまったり、行き届かなかった点があったものと反省をしておりますが、やはりこの点においてもコロナによるオンライン授業の期間が長く、学内で学生と接する時間が自ずと限られてくる中での対応であったことにも一因があると分析しております。

以上、各項目についても総括を行ってまいりましたが、これらの結果を踏まえ、教職員間でよく共有し、改善して参りたいと思っております。

学生アンケート結果

回答者：35名

		回答	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない
		質問			
授業	授業を集中して聞くことができたか		28	6	1
	予習・復習・宿題をしたか		22	10	3
	日本語の能力が向上したと思うか		31	3	1
生活	教職員は相談しやすい雰囲気であったか		33	0	2
	困ったときに教職員は熱心に話を聞いてくれたか		34	0	1
	日本の生活に必要な指導や注意をしてもらえたか		35	0	0
進路指導	さまざまな進路先について、学校からの掲示物などで十分な情報提供が行われてきたか		35	0	0
	自分自身の進路について十分相談にのってもらえたか		29	6	0
学校の運営	現在所属しているクラスは自分のレベルに合っていたか		34	1	0

教務・事務 自己点検評価

評価日：2021年4月1日

評価項目		評価	それに対する意見・反省点
<学習指導> 教務			
1	学生の習熟度に応じたクラス分けが行われていたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	4月はブレイスメントテストでクラスを決定し、その後は3ヶ月毎の定期テストの点数や授業の様子を見てクラスを決定している
2	カリキュラムに沿った授業が行われているか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	クラス毎にカリキュラム、日々のスケジュールに沿って授業を進めている
3	教材の選定は適切であったか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	教材はクラスのレベルにあったものを3ヶ月毎に見直しで使用している。前年度を踏まえ、教材を変更した結果、より学生のレベルに適合した授業が可能になった
4	授業の準備は十分できたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
5	教材は効果的に使うことができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	自作プリントの活用で効果を確かめられている。絵カードやプロジェクターなどを活用している。
6	授業の時間配分は適切であったか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	スケジュール通り進めている
7	声の大きさ、話し方、早さは適切であったか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
8	学習者の身近な話題や興味を引く例文で導入することができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
9	学習者の質問に適切に対応することができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
10	学習者の指名に偏りがなかったか	そう思う ○ <u>どちらともいえない</u> そう思わない	オンライン授業ではきちんと聞いている学生を指名することが多かった。
11	学習者の理解度を確認しながら授業を進めることができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	教科書は2課ごとにテストをして定着度を確かめながら進めている。必要に応じ追試を実施した
12	クラス活動の指示は分かりやすく、学習者が混乱することなく活動に集中することができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
13	板書は分かりやすく、立ち位置は適切であったか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
14	授業中の学習者の私語、携帯、居眠りを放置することなく注意したか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	授業前に携帯を回収したり、所持の場合は私用に使用しないように注意したりした
15	宿題の量は適切であったか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	毎回きちんと提出する学生、そうでない学生に分かれた。提出を徹底するように指導した。
16	クラスの目標を学生と教師が共有し、また教師間で話し合い目標に向けて協力できたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	引継日誌のコメントをもとに学生に合わせて進捗変更や指導について話し合っ決めてようしている
17	学習者が教師に信頼感を持って授業に参加できていたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
18	学習者に働きかけ、授業に引き込むことができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	
19	成績評価は適切に行われていた	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	あらかじめ共通の評価基準を設け、テスト、宿題、授業態度を点数化して評価をしている
20	クラスの学習目的は達成することができたか	○ <u>そう思う</u> どちらともいえない そう思わない	あらかじめ共通の評価基準を設け、テスト、宿題、授業態度を点数化して評価をしている
21	教師間の授業見学、評価、勉強会は定期的実施されたか	そう思う ○ <u>どちらともいえない</u> そう思わない	オンライン授業が多かったために勉強会ができなかった。リモートでの勉強会等を検討する

<進路指導> 教務

1	進学説明会、進路調査の面談をもとに志望校の情報提供や細やかな指導が行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	
2	日本留学試験、面接、小論文の対策、指導がおこなわれていたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	
3	日本語以外の受験科目に対するサポート、指導が行われていたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	

<学生管理> 事務

1	入国時の出迎えはスムーズであったか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	事務職員が空港まで出迎えに行っている。
2	住民登録・在留カードの作成、国民保険の加入、在留機関更新、一時帰国等に関するオリエンテーションは行われ、学生は理解していたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	ベトナム人スタッフが同行し各種手続きをサポートし、必要に応じて通訳入りの説明をしているので、理解度は高いと考えられる。
3	寮の管理（2週間に一度の点検等）と生活指導は定期的に行われていたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	
4	アルバイトに関する最新情報（勤務先、勤務先住所、電話番号、勤務時間、責任者）を把握していたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	
5	学期ごとに学生と面談を行い、生活上の問題、精神面を含めた健康管理について学生の話聞くことができたか。	<input type="radio"/> そう思う <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	問題のない学生には接する機会が少なくなってしまう傾向にあった。全ての学生に一定数以上の面談を実施できるよう定期的に面談の実施状況を共有するよう検討。
6	授業料、寮費は期日までに納入されたか	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	分割払いを希望する学生が多く、それでも期日を守れない学生が多く存在した。
7	授業料、寮費を支払えない学生には個別に対応することができたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	個別に面談をし、事情に応じた対応をすることができた。
8	緊急時（台風、大雪、地震）の連絡体制は万全であったか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	フェイスブックのメッセージ等を使い、学生への連絡は随時可能な状態であった。
9	学生の個人情報の取り扱いは適切であったか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	
10	学生の成績や日本での活動について、保護者やエージェントに定期的に報告しているか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	学期末ごとに、各エージェントを通じ保護者にも報告を行っている。

<生活指導> 事務

1	出席率80%以下の学生に対して、面談や家庭訪問などの適切な指導は行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	常に個別具体的に迅速な対応に努めている
2	学生が学校に連絡なく欠席した際には直ちに連絡し適切な対応ができたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	直ちに連絡し、訪問等の対応を取っている。
3	日本社会の習慣、ルールを理解するための支援が適切に行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	オリエンテーションや、長期休暇前の諸注意の中で、理解の深化に努めている。
4	住居、買い物、交通機関等、日本の生活に適応できるような支援が適切に行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	常勤職員による通訳も介しながら適切な指導を随時行っている。
5	学生の心身健康管理、事故、病気、怪我の際のサポート体制があるか	<input checked="" type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input type="radio"/> そう思わない	病院への同行、留學生保険の加入・対応を行なっている。
6	災害の発生に備え、安全に避難することができるように防災教育や避難訓練は行われたか	<input type="radio"/> そう思う <input type="radio"/> どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	今年度は、新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン授業を実施している期間が長かったため、避難訓練の日程が確保できなかった。

<学校行事・課外活動> 事務・教務

1	学校行事、課外活動の実施日や年間行事の実施回数は適切であったか	そう思う どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、行事は大幅に削減せざるを得なかった。
2	学校行事、課外活動は趣旨に沿った内容であったか	そう思う <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、行事は大幅に削減せざるを得なかった。
3	学校行事、課外活動の予算は適切に使われたか	そう思う <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、行事は大幅に削減せざるを得なかった。
4	学校行事、課外活動後に学生アンケートを実施し、改善策を検討したか	そう思う どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、行事は大幅に削減せざるを得なかったため、十分な対応ができなかった。
5	活動後に総括を行い、改善策について話し合いは行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	

<学生募集・入学選抜等> 事務

1	学生募集は計画通り実施され、目標は達成できたか	そう思う どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン授業を実施した機関が多く、計画通りに進められたとは言い難い。
2	学生募集、広報の予算は適切に使われたか	そう思う どちらともいえない <input checked="" type="radio"/> そう思わない	新型コロナウイルス感染症の影響で、海外・国内ともに出張が制限され、計画通りに進められたとは言い難いが、予算の使途は適正であった。
3	入学希望者の選抜は公正に行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
4	営業活動後に総括を行い、改善点について話し合いは行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
5	入学金、授業料は適切であるか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	

<その他> 事務・教務

1	奨学金の募集については計画通り実施され目標は達成できたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
2	奨学金希望者の選定は公正に行われたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
3	奨学金希望者の選定結果は公表されたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
4	教室の備品（ペン、カレンダー、地図、掲示板、CDプレイヤー、プロジェクター）は常にそろっていたか。また、故障の際は速やかに対応できたか	<input checked="" type="radio"/> そう思う どちらともいえない そう思わない	
5	学校の図書は管理者によって在庫管理がされているか	そう思う <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない そう思わない	
6	学生ラウンジ、自主学習のための環境整備を推進していたか	そう思う <input checked="" type="radio"/> どちらともいえない そう思わない	

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

2021年 4月 1日現在

1. 機関概要

機関名： **グランビジョン国際学院**
 所在地： 〒154-0001 東京都世田谷区池尻2-32-8-2F
 設置校URL： <https://www.granvision.tokyo>
 電話番号： 03-6805-4294
 E-Mail： info@granvision.tokyo
 設置者名： **神興建設株式会社**
 設置者種別： **株式会社**
 法務省告示認定年月： **2017年11月**
 選定結果： **非適正校**

代表者名： 伊藤悠
 校長名： 加野奈保子
 副校長名：
 主任教員名 金田さつき
 教員数： 13人（うち専任4人） ※校長が教員を兼ねる場合は、校長を含む。
 収容定員（変更報告年月日）： 100人（変更なし）
 在籍者数（在留資格「留学」の生徒）： 1

2. 名称の基準適合性（告示基準第1条第1項第1号関係）

学則	基準適合性
学校の名称として、告示されたものを正しく使用しているか。（第1条第1項第1号）	○

3. 学則の基準適合性（告示基準第1条第1項第2号関係）

学則	基準適合性	変更報告年月日
学則が基準に適合しているか。（第1条第1項第2号）	○	変更なし

4. 設置代表者、校長、主任教員の基準適合性（告示基準第1条第1項第3号、第4号、第5号、第10号、第15号、第17号関係）

設置代表者・校長・主任教員	基準適合性	変更報告年月日
設置代表者が基準に適合しているか。（第1条第1項第3号、第4号、第5号）	○	変更なし
設置者が日本語教育機関以外の事業を行っている場合、当該事業について記載。（第1条第1項第5号）	建設業	
校長が基準に適合しているか。（第1条第1項第10号、第17号）	○	2021年4月1日
主任教員が基準に適合しているか。（第1条第1項第15号、第17号）	○	変更なし

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

5. 教員等の基準適合性 (告示基準第1条第1項第11号, 12号, 13号, 第14号, 第17号関係)

教員	基準適合性
教員が基準に適合しているか。(第1条第1項第13号, 第17号)	○
教員数及び専任教員数が基準に適合しているか。(第1条第1項第11号, 第12号)	○
教員の1週間当たりの授業担当時間数が基準に適合しているか。(第1条第1項第14号)	○
事務局の事務を統括する職員が, 欠格事由に該当していないか(第1条第1項第17号)	○

専任・非常勤の別	在籍教員数	①日本語教育に係る学位取得者数	②大学における日本語教員養成課程修了者数	③日本語教育能力検定試験合格者数	④420単位時間以上の養成研修修了者(学士以上の学位取得者に限る)数	⑤その他
非常勤教員	9			4	4	1
合計	13	0	0	5	7	1

※教員1名につき立証可能な要件いずれか1つに計上すること

※教員の詳細については別紙(様式8-2号)提出

地方出入国在留管理局への教員変更報告:

済 未済 変更なし

(※告示基準第10号, 第13号, 第14号, 第15号, 第42号関係)

最終教員変更届出日 2019年11月8日

4/1時点では、上記の届出が最終でしたが、その後、校長の変更に伴い新しい届出(様式第8-2号)を提出しておりますので、今回その新しい様式第8-2号を付しております。

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

6. 教育課程と生徒の定員等が基準に適合しているか（告示基準第1条第1項第6号、第7号、第8号、第9号関係）

教育課程、生徒の定員等授業科目	基準適合性
教育課程は告示基準に適合しているか。（第1条第1項第6号）	○
生徒の定員と、同時に授業を受ける生徒数が基準に適合しているか。（第1条第1項第7号、第8号、第9号）	○

設置コース	1単位時間		レベル別教育時間（単位時間）数						定員数	在籍者数	修業期間の始期	変更報告年月日	コース修了時の日本語能力の達成目標
	初級	初中級	中級	中上級	上級	合計							
進学1年コース				800			800	20	0	4月	変更なし	N2相当	
進学2年コース	200	200	400	800			1,600	80	1	4月	変更なし	N2相当	
							0						
							0						

7. 課程修了者の日本語能力習得状況等（告示基準第1条第1項第44号関係）

課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
大学等への進学者の数、入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格（外交、公用及び技能実習を除く。）への変更を許可された者の数、CEFRのA2相当以上のレベルの者の数及びこれらの数の合計について、地方出入国在留管理局に報告しているか。	○
上記のそれぞれの数及び合計について、公表しているか（公表方法を下記に記載）。	○
上記の合計について、当該年度の課程修了の認定を受けた者の7割を下回る場合に、改善方策を地方出入国在留管理局に報告しているか。	該当なし
公表方法（HPの場合はURLも記載）	
HP	https://www.granvision.tokyo

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

8. 点検・評価（告示基準第1条第1項第18号関係）

【告示基準第1条第1項第45号関係】

点検・評価	基準適合性
教育水準の向上を図り、日本語教育機関の目的を達成するため、活動の状況について自ら点検及び評価を年に1回以上行っているか。（第1条第1項第18号）	○

自己点検・評価	実施年月	点検・評価結果の公表方法（HPの場合はURLも記載）	
	2021年4月	HP	https://www.granvision.tokyo

9. 生活指導（告示基準第1条第1項第16号、第17号関係）

生活指導	基準適合性
生徒の生活指導及び進路指導に関する知識を有する教員又は事務職員の中から、生徒の生活指導及び進路指導を行う者を生活指導担当者として定めた上、適切な生活指導及び進路指導を行うことのできる体制を整えているか。（第1条第1項第16号）	○
全ての生活指導担当者が、欠格事由に該当していないか。（第1条第1項第17号）	○

	本務	兼務
生活指導担当者数	1	2
進路指導担当者数	3	0

10. 施設・設備（告示基準第1条第1項第19号～第29号関係）

施設・設備（校地・校舎、教室等）	基準適合性	変更報告年月日
施設・設備が告示基準に適合しているか。（第1条第1項第19号～29号）	○	変更なし

11. 健康診断（告示基準第1条第1項第30号関係）

健康診断	基準適合性
入学後できるだけ早期に健康診断を行うこととし、以後1年ごとに健康診断を行っているか。（第1条第1項第30号）	○

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

1.2. 入学者の募集・選考（告示基準第1条第1項第31号～第34号関係）

入学者の募集	基準適合性	情報提供方法
入学者の募集に当たり、入学希望者に対し、告示基準に定める事項に関する情報の提供を適切な方法により正確かつ確実にしているか。（第1条第1項第31号）	○	学院ホームページ、パンフレット等を通じ情報提供を行うほか、面接時にも本人に直接伝えている。
入学者の選考	基準適合性	確認・把握方法
入学者の選考に当たり、入学希望者が日本語教育を受ける者として適当と認められること及び経費支弁能力を有することを適切な方法で確認しているか。（第1条第1項第32号）	○	面接時に入学希望者の要望を直接聞くと同時に人格や意欲について見極め、経費支弁能力については銀行通帳残高や資産形成過程が分かる資料の提出を求め確認するとともに経費支弁者本人からも電話等で確認を取っている
入学者の選考に当たり、入学希望者が仲介者等に支払い又は支払うことを約束した金銭の名目及び額を適切な方法により把握していること。（第1条第1項第33号）	○	入学希望者本人と仲介業者双方から聞き取りを行い、そこに齟齬がないかを含め、慎重に把握している。
不適切な仲介業者が関与している場合には、その入学希望者の入学を認めないこととしているか。（第1条第1項第34号）	○	

1.3. 在籍管理（告示基準第1条第1項第36号～第40号関係）

在籍管理	基準適合性
個々の生徒の単位時間ごとの出欠を正確に把握するための適切な措置を講じているか。（第1条第1項第36号）	○
1か月の出席率が8割を下回った生徒については、1か月の出席率が8割以上になるまで改善のための指導を行っているか。（第1条第1項第37号）	○
生徒の在留期間並びに資格外活動の許可の有無及び内容を把握し、出入国管理法令に違反しないよう適切な助言及び指導を行っているか。（第1条第1項第40号）	○
資格外活動の許可を受けている生徒に対して、当該許可に係る活動を行う本邦の公私の機関の名称の届出を求めているか。（第1条第1項第40号）	○

1.4. 禁止行為（告示基準第1条第1項第41号関係）

入学者の募集	基準適合性
職業安定法上の許可を受けている場合を除き、生徒の在籍中若しくは離籍後の就労又は進学に関し、生徒、就労先の事業者若しくは進学先の教育機関又は仲介者からあつせん又は紹介の対価を得ず、かつ、役員、校長、教員及び職員をしてこれを得させていないか。（第1条第1項第41号）	○

法務省告示をもって定める日本語教育機関における教育に関する告示基準定期点検報告書

15. 地方出入国在留管理局への報告（告示基準第1条第1項第38号、第39号、第42号、第43号、第46号関係）

地方出入国在留管理局への報告	基準適合性				
	第38号	第39号	第42号	第43号	第46号
告示基準に基づく地方出入国在留管理局への報告を適切に行っているか。	○	○	○	○	○

16. 記録等の保存（告示基準第1条第1項第31号、第33号、第35～第37号、第40号、第45号関係）

記録等の保存	基準適合性						
	第31号	第33号	第35号	第36号	第37号	第40号	第45号
告示基準に基づき、記録、届出のあった内容又は資料を適切に保存しているか。	○	○	○	○	○	○	○

17. 地方出入国在留管理局への職員への記録等の提示（告示基準第1条第1項第47号関係）

記録等の提示	基準適合性
地方出入国在留管理局の求めがあったときは、第31号、第33号若しくは第35号から第37号までに規定する記録、第40号に規定する届出のあった内容又は第45号に規定する資料を地方出入国在留管理局の職員に提示しているか。（第1条第1項第47号）	○

18. 運営体制（告示基準第1条第1項第48号）

運営体制	基準適合性
日本語教育機関の運営が円滑に行われる体制を有しているか。（第1条第1項第48号）	○

点検結果は上記のとおりで間違いありません。

2021年5月10日

機関名 グランビジョン国際学院

設置代表者名 神興建設株式会社 代表取締役 山家茂夫



課程修了者の日本語能力習得状況等

作成年月日:2021年4月10日

日本語教育機関名: グランビジョン国際学院

設置者名: 神興建設株式会社
代表取締役 山家 茂夫



課程修了者の日本語能力習得状況等	基準適合性
第44号: 大学等への進学者, 入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交・公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者及びCEFR・A2相当以上と認められる者の合計が、課程修了の認定を受けた者の7割以上	○

基準該当割合 ②÷(①+③)	94.4%
課程修了者数(※1, ※2) ①	36
基準該当者合計数(実人数) ②	34

左記「基準該当者合計数(実人数)」のうち退学者数(44号ただし書き) ③	0
--------------------------------------	---

※1 退学者は含めない。

※2 各年度の課程修了の認定を受けた者が、その修了日までに入管法別表第1の1の表若しくは第1の2の表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への在留資格変更許可申請をした場合において、当該申請に対する処分が、この号に基づく地方出入国在留管理局への報告までになされないときは、当該者を分母となる課程修了認定者の数に該当する者として加える必要はない。

基準該当者の各内訳	進学2年コース			
※該当する要件が二以上ある生徒は、a～cのそれぞれに計上可。ただし、「基準該当者合計数(上記②)」は実人数を算出するため、当該生徒について重複を除き、一人として扱うこと。	a. 大学等への進学者の数 ※我が国での進学に限り、非正規生は除く。	31		
	b. 入管法別表第一の一の表若しくはこの表の上欄の在留資格(外交、公用及び技能実習を除く。)への変更を許可された者の数	1		
	c. CEFRのA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者の数 ※法務省HPに掲載された試験又は日本留学試験に限る。	23		

※CEFRのA2相当以上のレベルであることが試験その他の評価方法により証明されている者(C)については、CEFRのA2相当以上のレベルであることを証明するための書類(試験の合格証等)の写しを本報告書と併せて提出すること。

基準該当者合計数(②)及び内訳(a～cのそれぞれの合計)の公表の方法
当校ホームページにて公表

全ての生徒の6か月間の出席率に係る日本語教育機関からの報告(参考様式)

2021年 6月 1日

日本語教育機関名: グランビジョン国際学院

設置者名: 神興建設株式会社 代表取締役 山家 茂夫



報告対象の年度	報告の対象の期間	
2020年度	<input type="radio"/> 4月1日～9月30日	<input checked="" type="radio"/> 10月1日～3月31日

10月1日現在の「留学」に係る在籍者数: 38

通し番号	コース名	6月間の総授業時間数	全ての生徒の出席すべき単位時間数の合計	全ての生徒の出席した単位時間数の合計	全ての生徒の出席率
1	進学1年コース	該当学生なし			
2	進学2年コース	436	16140	15326	95.0%
	総計	436	16140	15326	95.0%

(注1) 報告すべき期間のうち、一部の期間しか在籍していない生徒についても、当該在籍期間において出席した単位時間数及び出席すべき単位時間数を正確に算入すること。
 (注2) 個々の生徒ごとの月単位の出席状況については、任意の様式により提出すること。